



- 凡例**
- 土石流危険区域(土石流の堆積や氾濫が予想される地域)
  - 土石流危険渓流I(保全人家戸数5戸以上及び公共施設)
  - 土石流危険渓流II(保全人家戸数1～4戸)
  - 土石流危険渓流に準ずる渓流III
  - 急傾斜地崩壊危険箇所I(保全人家戸数5戸以上及び公共施設)
  - 急傾斜地崩壊危険箇所II(保全人家戸数1～4戸)
  - 急傾斜地崩壊危険箇所IIに準ずる斜面III
  - 浸水危険箇所
  - 山腹崩壊危険地区
  - 崩壊土砂流出危険箇所
  - 指定緊急避難場所・指定避難所

**土石流危険区域・渓流**

谷や斜面に貯まった土・石・砂などが、梅雨や台風などの集中豪雨による水と一緒になって、一気に流れ出てくるのが土石流です。破壊力が大きく、また速度も速いので、大きな被害をもたらします。

このような被害をもたらす恐れのある区域・渓流を**土石流危険区域・渓流**といいます。

**急傾斜地崩壊危険箇所**

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。また、地震をきっかけに起こることもあります。

このような被害が人家に生じる恐れのある箇所を**急傾斜地崩壊危険箇所**といいます。